



著者プロフィール：日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。98年から長期渡西。マドリードのタブラオ「カサ・パタス」やセビージャのラジオ番組などに出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD：風回廊（渡辺えり）、天国を見た男（沢田研二）、Boy（coba）他。Estudio ROMERO主宰。

VOL.7
ALEGRÍAS ④

～はじめに～ 前回まではアレグリアスの歌振りをコブラとコレティージャに分けて、その構造や形式を詳しく分析しました。今回はその後に続くシレンシオやカステジャーノの和音構成、そしてエスコビージャ部分の palma のたたき方などを確認していきましょう。

シレンシオ (silencio)

静寂という意味を持つシレンシオは、歌振りを締めたとにギターでゆっくり旋律を弾く部分をいいます。短調（マイナーキー）6コンパスと長調（メジャーキー）4コンパスの合わせて10コンパス分を弾くことが一般的ですが、実際はそれぞれのギタリストによって長さはまちまちです。ここでファルセータとシレンシオの違いを整理しておきましょう。アレグリアスやロメーラ、カラコレスなど12拍子の長調の曲にシレンシオは存在します。暗いメロディーがシレンシオだと勘違いしている人が多いですが、それは間違いです。先述した通りメジャーキーのシレンシオも存在します。歌振りの後やエスコビージャの中で弾くメロディーはファルセータといいますが、では何が違うのでしょうか。シレンシオはゆっくりのリズムなので、それをリズムカルにすると倍取りのリズムになります（6月号のソレアのエスコビージャの項参照）。つまり倍取りのリズムでメロディーを弾く部分をシレンシオと呼んでいます。ではシレンシオの特徴を詳しくみていきましょう。

マイナーキーのシレンシオ

短調（マイナーキー）6コンパス分の旋律をゆっくり弾く部分です。EメジャーのキーではEマイナー、CメジャーのキーではCマイナー、AメジャーのキーではAマイナーになることが一般的です。

〈Eマイナーの典型的な和音進行〉

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1コンパス目	Em						Em			B7		
2コンパス目	B7						B7			Em		
3コンパス目	Em						Em			B7		
4コンパス目	B7						B7			Em		
5コンパス目	Em						E7			Am		
6コンパス目	Am				Em		B7			E		

ワンポイント→ギター

シレンシオはギターの見せ場でもあります。必ずしも上記のような短調のコード進行だけにとどまる必要はありません。オリジナリティーに富む自分だけのシレンシオを一つは持っておきたいですね。

短調以外にはミの旋法をもちいたメロディーもよく耳にします。EメジャーのキーではA♭(ミネーラのキー)、Cメジャーのキーではポルアリーバ(ソレアのキー)になります。

メジャーキーのシレンシオ

短調のシレンシオの後に長調(メジャーキー)4コンパス分の旋律をゆっくり弾く部分です(ロサとも呼ばれます)。また、この部分に4連の足をかぶせて踊る場合もあります。

〈Eメジャーの典型的な和音進行〉

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1コンパス目	E						E			B7		
2コンパス目	B7						B7			E		
3コンパス目	E						E7			A		
4コンパス目	A			E			B7			E		

ワンポイント→ギター

シレンシオの後にはカステジャーノが来ることもあれば、エスコビージャになる場合もあります。どちらにせよシレンシオを完全に終えてから入るのか、それともリズムが続くのかを見極める必要があります。また終わり方も10拍目までや12拍目までなどさまざまですし、フェードアウトで終わる場合もあります。その後にリズムが続く場合は、4コンパス目の1拍目や7拍目から急にテンポが速くなる振付もありますので、注意が必要です。

コラム

シレンシオはギターの見せ場と説明しましたが、カマロンはCD「Leyenda del Tiempo」中の曲「Bahía de Cádiz」で、生まれ故郷のサン・フェルナンドやサンティ・ペトリが出てくる下記の歌詞を、シレンシオで歌っています。

Esteros de Sancti-Petri.	サンティ・ペトリの沼地
salinas de San Fernando,	サン・フェルナンドのサリーナ(塩田)
espejos de sol y sal	光り輝く太陽と塩
donde se duermen los barcos.	そしてたくさんの船々

実はこの原稿を今カディスで書いているのですが、今日サン・フェルナンドにあるカマロンがよく通ったVenta de Vargas (右写真)へ食事に行ってきました。



上記の歌詞の通り、カディスからサン・フェルナンドまでは海水浴場とサリーナ(塩田)が広がっています。そしてその先の街チクラナまでの間にサンティ・ペトリの湿地や島々があります。

新鮮な海の幸が豊富で、エビやタコの他、カニやイサギ(つぶ貝のようなもの)やオルティギージャ(イソギンチャク)、シガラ(海生のザリガニ)なども食べることが出来ます。



音源は片桐勝彦 HP で聴けます！ URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>
同内容のバルマクラス、スタジオロメロで開催中。10月14,28日20:40~終電ぐらいまで

カステジャーノ (castellano)

シレンシオのあとに歌われるメロディー(通常4コンパス)のことをカステジャーノと呼んでいます。マドリードやアンダルシアなど地域によって呼び方はさまざまです(カステジャーナ、パセオ・デ・ラ・カステジャーナ、パセイージョ、パソ・カステジャーノなど)。歌振りの中のコレティージャと同じ歌詞を持つてくることも多いですが、最近ではいろいろなエスティロ(形式)のものが歌われます。しかし最近の振りではカステジャーノ自体が省略されるケースも多いので、歌い手にその有無を伝える必要があります。

〈カステジャーノの典型的な和音進行〉






	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1コンパス目	E		E			E		E		B7		
2コンパス目	B7		B7			B7		B7		E		
3コンパス目	E		E				E7	E7		A		
4コンパス目	A		B7			B7		B7		E		

エスコビージャ (escobilla)

6月号のソレア②でエスコビージャのことは詳しく説明しましたが、アレグリアスでもエスコビージャの基本的な仕組みは同じです。しかしソレアと違い、アレグリアスでは通常2コンパス一回りのメロディーで伴奏されます。つまり踊る際に1コンパス目で締めないように注意が必要なのと、逆にギター伴奏をする際は踊りが終わりそうな場合は1コンパスずつの弾き方に変える必要があります。エスコビージャ中にファルセータやハレオ歌、タパオなどが入ることもありますが、まずはアレグリアスにおける基本的なエスコビージャの特徴を整理しながら、パルマのたたき方を確認していきましょう。

基本的なパルマのたたき方

ソレア同様アレグリアスも12拍子の曲なので、下記のようなソレアと同じたたき方をします。

	1	2	③	4	5	⑥	7	⑧	9	⑩	11	⑫
パルマ	♪	♪	♪				♪	♪		♪		
足												

しかしアレグリアスはソレアよりもリズムカルな曲なので、踊り伴奏の場合は実際には上記よりもパルマの音数を増やしたたたき方をすることが多いです。

	1	2	③	4	5	⑥	7	⑧	9	⑩	11	⑫
パルマ	♪	♪	♪	♪	♪	(♪)	♪	♪	♪	♪	(♪)	(♪)
足												

4連符のエスコビージャ

ソレア同様アレグリアスのエスコビージャでも、近年4連系のリズムが増えてきました。シレンシオと同じぐらいの遅いテンポの4連の場合は、すべての拍の表裏にパルマをたたきます。ソレアと同じく3、6、9、12拍目の裏をたたかない場合や、逆にアクセントをつけてたたく場合があります（エスコビージャの導入部分などでギターが旋律などを弾いている最中は、パルマを無理にたたかない方が効果的です）。

	1	2	③	4	5	⑥	7	⑧	9	⑩	11	⑫
パルマ	♪	♪	♪ (♪)	♪	♪	♪ (♪)	♪	♪	♪ (♪)	♪	♪	♪ (♪)
足												

3連符のエスコビージャ

速いテンポ（♩ = 130以上）でのエスコビージャは3連符で踊られる場合が一般的です。この場合パルマは拍の表だけをたたきます。パルマをたたく場合、間違っ1拍目や4拍目に足を踏んでしまう人が目立ちます。アクセントの無い1拍目や4拍目には足を踏まないように注意してください。

	1	2	③	4	5	⑥	7	8	⑨	10	11	⑫
	タカタ	タカタ	タン	タカタ	タカタ	タン	タカタ	タカタ	タン	タカタ	タカタ	タン
踊り												
パルマ	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪
足												

2連符のエスコビージャ

従来の振付や初心者用またはアップテンポの振付では、エスコビージャが2連で始まる場合があります。この場合、特に3拍目にアクセントをつけた踊り方をしないと、伴奏者に何のリズムかつたえにくいので気をつける必要があります。パルマのたたき方は3連の時と考え方は同じです。

ワンポイント→パルマ

パルマの基本として、歌振りやファルセータ部分はソルダ(バホ)でたたきますが、アレグリアスのような明るく賑やかな曲は歌振りやファルセータでもセコ(アリーバ)でたたいた方が効果的な場合が多いです。

だからといって歌やギターのメロディーよりも大きい音でたたいて良いはずはありません。小気味の良いセコのたたき方を研究してみてくださいね。

次回はいよいよアレグリアスの最終回です。ブレリア・デ・カイやハケの部分を取り上げます。お楽しみに！